
世界をしらない少女 番外編

まり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界を知らない少女 番外編

【コード】

N9020Y

【作者名】

まり

【あらすじ】

世界を知らない少女の番外編です。

あれ？

何か落ちてる？

かなえを病院に連れていったあと、僕はかなえの娘を探しに行くために一度家に帰っていた。

お風呂にはかなえが着ていた服が床にたたんでおかれていた。

「これは…」

服といっても、その形はボロボロで服とはいえない状態だった。

しかしこの感じ見覚えがある…。

「これは…制服だ！中学生の頃着ていた制服に間違いない！」

心にズキッと刺さる痛み。

かなえは、この時から僕達とは違う時を生きてきたんだ。

しばらくその場から動けなくなってしまった。

いろいろな感情がかけめぐる…。

かなえ…。

僕はかなえの服をそっと手にとった。

チャリン…

「えっ？」

今何かが落ちたような音がした！

僕はあわてて辺りを見渡す。

あ、あそこに落ちてる！

僕は手を伸ばしそつと落ちた物を拾い上げた。

「これは…僕がかなえにあげたネックレス！」

そつだ！覚えているこの形！僕がかなえの誕生日になり町まで行って買ってきた、桜とさくらんぼのネックレス！

渡すのが恥ずかしくて何度も、渡すためのイメージトレーニングをしたのを覚えている！

まだとてもキレイなネックレス。

「大切にしてくれていたのか…」

僕のほほから一粒の涙がこぼれ落ちた。

「かなえ、これはあずかっておくよ！そしてまた、あの時のように
てれなが君の首につけさせてほしい」

そして、僕はネックレスをポケットにいれた。

その後このネックレスがかなえの娘との距離を縮めてくれること
になる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9020y/>

世界をしらない少女 番外編

2011年11月27日00時50分発行